

## 平成25年度 事業報告

平成25年4月1日～平成26年3月31日

### I、植樹事業特定資産

#### 1、大阪府「花の文化園」植栽一式、

地域のシンボルツリーとして将来にわたって多くの人に親んでもらうため、芝生広場の空間部分に4本のシダレザクラを植栽し、平成22年度と23年度に植えた桜と合わせて13本で広場の景観が完成した。  
(500万円)

#### 2、大阪府「みどりの防波堤」植栽一式

高石市千代田の府道大阪臨海線に、津波抑制の期待を込め黒松、くすのき23本とヒラドツツジ、シャリンバイ490本で道路の景観を作った。大浜公園、浜寺公園など既存の緑と連携して太いグリーンベルトを形成した。  
(350万円)

#### 3、大阪府「府道西藤井寺線」植栽一式

地域住民らで構成する「藤井寺駅周辺まちづくり協議会」が藤井寺市を動かし、平成24年度の23本に引き続き25年度はイチョウ27本を植替え、並木の復活を完成させた。  
(500万円)

#### 4、大阪府「槇尾川上流部」植栽一式

槇尾川上流部の治水能力の向上とハイカーが楽しめる魅力ある景観づくりと合わせて、かつて地域で実施されていた「さくら祭り」「もみじ祭り」の復活を後押しするためにヤマザクラ30本とイロハモミジ34本を植えた。  
(280万円)

#### 5、大阪府教育委員会「高等学校2校、支援学校1校」植栽一式

##### ①大阪府立阿倍野高等学校

創立90周年を迎えたのを機に大阪市内の住宅地に位置する学校にみどりを増やして地域の人にも楽しんでもらうため、ソメイヨシノ2本とアジサイ100株を寄贈した。  
(40万円)

##### ②大阪府立枚岡樟風高等学校

生駒山の里山環境を再現し、高齢化しつつある地域住民に癒やしを与え、子供たちには国蝶オオムラサキの生息樹林の維持管理を教育の一環として活用するためエノキ、クヌギ各2本を植栽した。  
(50万円)

##### ③大阪府立堺聴覚支援学校

学校入口周辺の法面部分にモチ、ツツジ、ドウダンツツジを植樹することで学校前

を通行する人にも楽しんでもらえる景観を作った。 (80万円)

6、大阪市「扇町公園南側エントランス整備」植栽一式

都市中心部にある扇町公園は、周辺の再開発に伴い「花とみどり」「水と光」「スポーツ」「イベント」を基本テーマとして再整備を進めている。南側エントランスを公園のメインエントランスにふさわしく広がりのある明るいエントランスにするため、コブシ、サルスベリといった花木6本と見晴のきく中低木8千本を植樹した。

(960万円)

7、大阪市「市立栄小学校」植栽一式

旧校舎を支援学校に譲り栄小学校は平成26年1月に開校した。みどりの環境をすることによって生徒の健康の保持と豊かな情操の育成に役立てるためソメイヨシノなど中高木36本とヒラドツツジなど低木510本を植樹した。 (200万円)

8、大阪市立大学「生活科学部南植樹帯」植栽一式

キャンパス全体のアメニティー向上の一環として「華やかさ」をキーワードにしたハナカイドウ、ツツジ、キンモクセイを配置して校内の散策道を整備した。

(300万円)

9、大阪府「生駒山系花屏風」樹木配付

生駒山系を花でつなごうという趣旨のもと、四条畷市で住民に植樹をさせることで木に愛着を持たせようとハイキングコースにヤマザクラを植えた。100本のヤマザクラを寄贈。当初計画にはなかったが追加した。 (41万円)

\*尚、大阪府「府道住吉八尾線緩衝帯」の植樹に400万円を予定していたが、道路工事の進行の都合で府は辞退した。

## II、緑化事業積立資産

1、大阪府「中之島にぎわいの森緑化整備工事（裁判所前）」植栽一式

中之島にぎわいの拠点として「八軒家」「中之島バンクス」「ほたるまち」と続き、第4番目として「裁判所前」が完成した。ウッドデッキ上にプランターとレストランを配置してドイツトウヒをシンボルツリーとしている。 (735万円)

2、大阪府「中之島にぎわいの森緑化整備工事（天満天神の森）」植栽一式

地元との交渉が難航していたが、3年越しで植樹が完成した。天神にふさわしく紅梅白梅を配置し、ムク、シラカシ、ソヨゴなど48本と地被類で中之島の対岸の景観をアップさせた。 (3390万円)

以上 総合計 7, 4 2 6 万円

【内訳】

植樹事業特定資産 3, 3 0 1 万円

緑化事業積立資産 4, 1 2 5 万円